

VRアプリ向け AI音声対話アバター

*AI Avatar AOI*による

新たなタッチポイントの創造



Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア

会社概要



※出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2023」



Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア

設立	1997年12月10日
資本金	69億3031万円
発行株式数	18,392,724株
上場市場	東京証券取引所グロース市場（3773）
所在地	<ul style="list-style-type: none">■ 本社 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 42F■ 大阪支社 大阪府大阪市西区立売堀1-3-11 ダイタイムビル5階■ 札幌営業所 北海道札幌市中央区大通西15-1-11 北日ビル第2大通4階405■ 名古屋営業所 愛知県名古屋市東区葵1-25-1 ニッシンビル302■ 福岡営業所 福岡県福岡市博多区博多駅南4-2-10 南近代ビル5F
代表	代表取締役会長兼社長 鈴木清幸
従業員数	社員数 単体：224名（平均年齢37.3歳） 連結：251名

事業領域

※2023年12月現在

514社 (72,130ライセンス)

- 次世代コールセンターソリューション
 - ・オペレーター能力の向上
 - ・リアルタイムモニタリング
 - ・通話録音の検索と見える化
- 音声AIアシストサービス

3,565ユーザー

- AmiVoice Cloud Platform
- 音声認識開発キット (SDK)

自治体・民間 2,122施設

- 文字起こし、議事録作成ツール
 - ・議会、一般会議、WEB会議
 - ・会見、講義、講演、インタビュー
- クラウド文字起こしサービス

996社

- 次世代セールスソリューション
 - ・営業能力の向上
 - ・接客・対面の見える化
- “声キーボード” “声マウス”
- 営業日報向け音声入力
- 音声AIアシストサービス

17,980施設 (51,633ライセンス)

- 放射線／病理画像レポート作成
- 電子カルテ向け音声入力
 - ・病院・診療所・歯科クリニック
- 調剤薬局向け薬歴作成
- 医療・介護従事者向け音声入力

6,048ライセンス

- ハンズフリー・アイズフリー音声操作
- ボイスピッキング
- 音声データ入力・記録
- 作業報告、点検向け音声入力

495社 (52,133ライセンス)

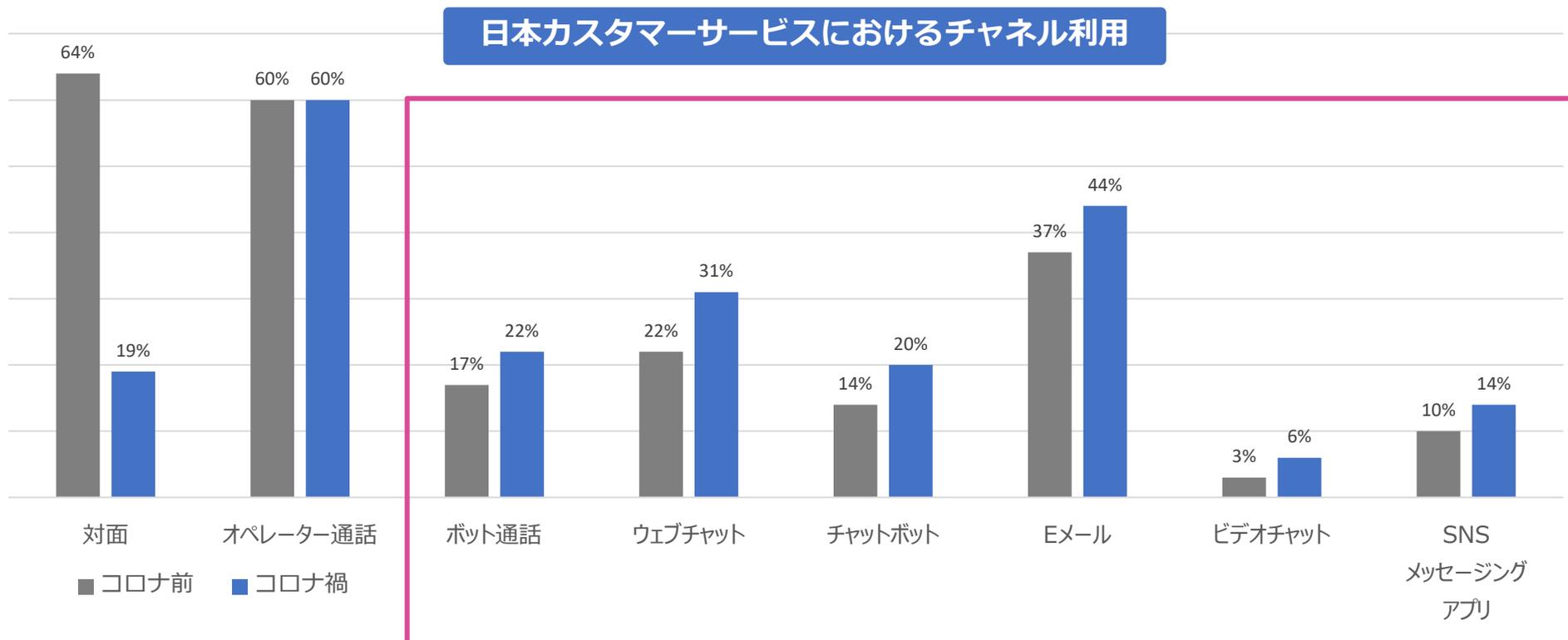
- ボイス検査ソリューション
- 仕上げ検査・配筋検査・写真管理



顧客接点が多様化（オムニチャネル化）

顧客と企業の間のコアな顧客接点となるカスタマーサービスの手法は多様化しており、オムニチャネルな世の中へシフト。

特にコロナ禍以降は**対面チャネルが激減し、新たなチャネルが育っている。**



※ ジェネシスThe Connected Customer Experience（2021年10月発行）

既存チャネルの特徴とメタバースの可能性

コンタクトセンター（カスタマーサービス）のチャネルとして様々なものがあり、コミュニケーションの方法も音声、テキスト、映像と多岐にわたる。
メタバース空間のAIアバターは有人対応不要でそれらを包括できる可能性がある。

チャネル（顧客接点）	音声	テキスト	映像	自動化（無人対応）
対面	○	○	○	×
オペレーター通話	○	×	×	×
ボット通話	○	△	×	○
ウェブチャット	×	○	×	×
チャットボット	×	○	×	○
E-メール	×	○	×	×
ビデオチャット	○	×	○	×
SMSメッセージングアプリ	×	○	×	×
メタバース	○	○	○	○

VRアプリ向け AI音声対話アバターを開発



※
国内初！ メタバー空間（VR Chat）で躍動するAI音声対話アバター

AI Avatar AOI

（2022年8月に発表）
（エーアイ アバター アオイ）

※VR Chat向け AI音声対話アバターとして国内初。当社調べ

AI Avatar AOIの特長

- 01.** AIがお客様対応を自動化。**24時間365日対応が可能(対話内容は管理画面で簡単に確認・編集)**
- 02.** メタバー空間上を**自由に移動し、任意の説明を実施**
- 03.** スマートフォン、PC、タブレットなど**マルチデバイスで利用可能**
- 04.** **好きなキャラクターをAIアバター化**することが可能
- 05.** 国内シェアNo.1※の音声認識エンジンで**自然なコミュニケーション**を実現
- 06.** 人間らしい自然な動きで**ユーザーエクスペリエンスを向上**
- 07.** 独自の多言語対応により**キャラクターの世界観を維持しながら様々な言語でコミュニケーション**



※出典：合同会社ecarlate「音声認識市場動向2023」

AI対話におけるハードルとAIアバターのメリット

AI対話ができる環境は既に世の中にあふれている…

令和5年時点でスマートフォンの世帯所有率は90.1%(*1)
AI対話機能(音声アシスタント)一定の利用経験(10回以上利用、日常的に利用)があるとの回答の合計でも19.9% (*2)



スマートフォンなどの無機質なものに話しかけるという行為はAI対話のハードルになっているのではないかな？

メタバース空間ではその効果が更に向上

「人間：アバター」から「アバター：アバター」
となることにより対話のしやすさは大きく向上



人間とAIが同様の見た目で見え同じ視線によるコミュニケーションが可能

キャラクターによる“対話しやすさ”の向上

話しかける相手をスマートフォンなどの機械ではなく愛着が湧きやすいキャラクターにすることによりAIに話しかけるという行為のハードルを大きく下げられるのではないかな？



「対話しやすさ」に加え、表情や身振り手振りを活用した「楽しさ」や視覚による情報量UPといった効果もあり

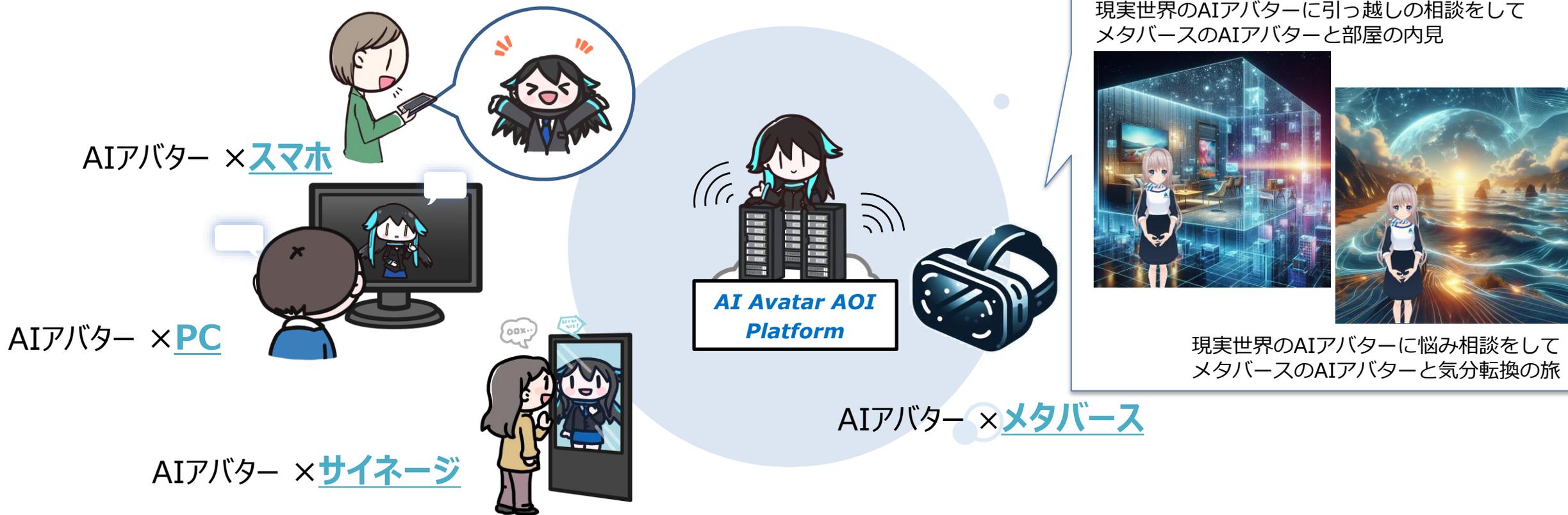
*1：令和5年版情報通信白書(総務省)

*2：音声アシスタントに関する国際アンケート調査(1)【2019年12月】(株式会社イード)

マルチデバイス対応によりメタバースを身近に

人間とAI、そして現実とメタバース空間をつなぐことが出来るマルチデバイスAI対応アバター

AIアバターのプラットフォーム化(開発中)により、様々なデバイス間を横断して利用者に対してパーソナライズされた同一のAIと対話、利用することが可能になります。

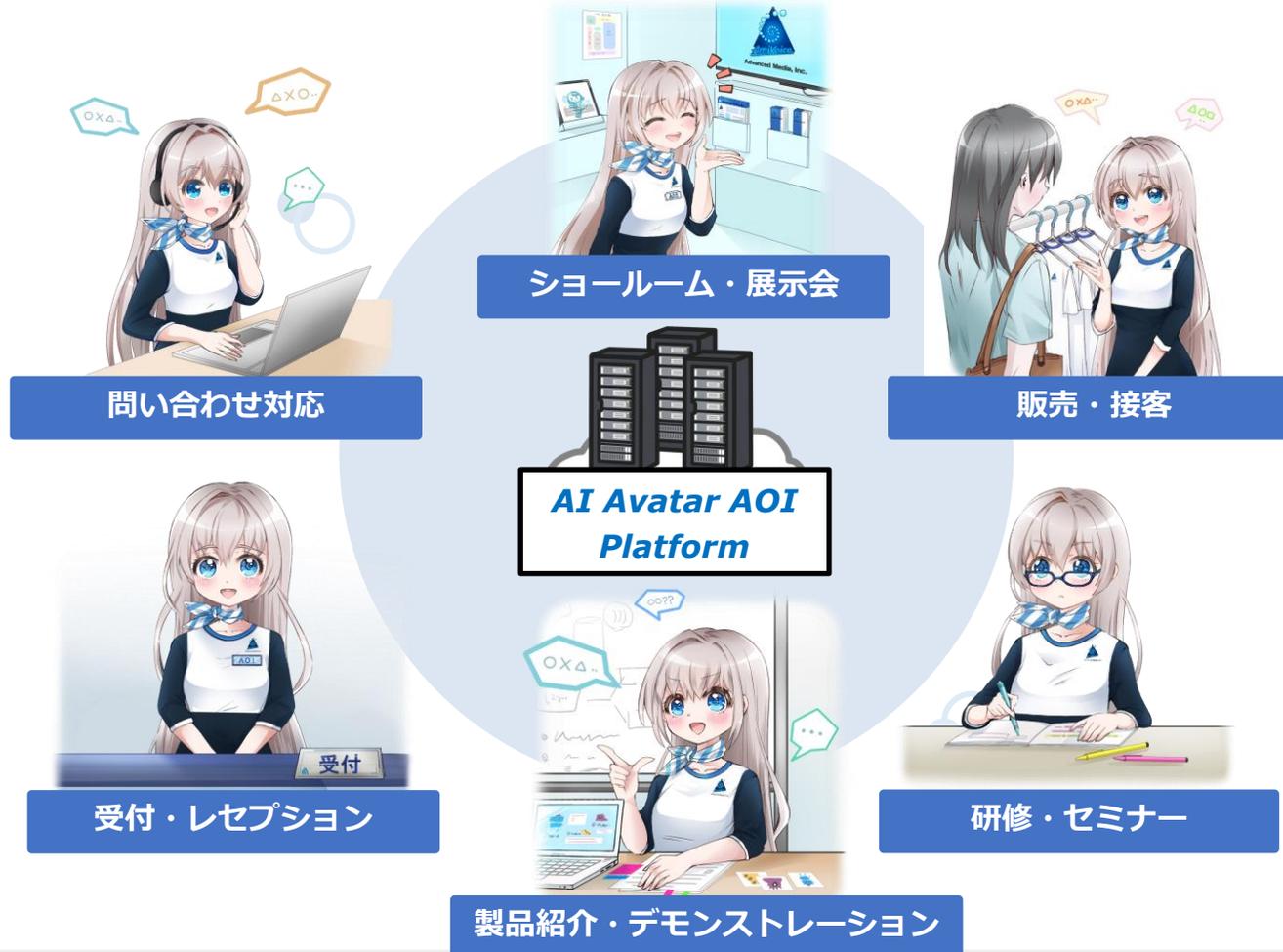


現実世界でスマートフォンのAIアバターと会話した内容を基にメタバース空間でワールドの案内をしてもらおう
メタバース空間でのAIとの世間話をきっかけに現実世界の観光案内をもらおう

AI Avatar AOIによる新たなタッチポイントの創造

想定利用シーン

マルチデバイスに対応しユーザーにパーソナライズされたキャラクターAIにより様々なシーンで顧客と企業と新しいタッチポイントとして利用できると考えています。



#音声認識で つくりたい 未来へ

もしも、人とキカイが
自然な会話でつながる未来を
実現できるなら。

AI音声認識 国内シェアNo.1の
「AmiVoice[®]」があれば、
そんな楽しい世界だって、
きっと夢ではありません。

音声認識の力で、
ワクワクできる未来をあたりまえに。
私たちは、アドバンスト・メディアです。

AI音声認識 国内シェアNo.1*

AmiVoice[®]